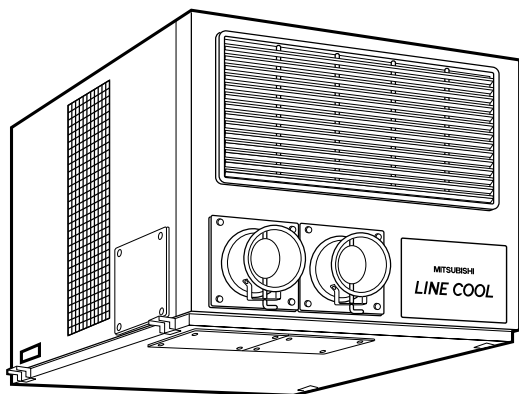


三菱電機 **スポットエアコン**

LINE COOL

《1 体形》



掲載機種

MD-P40TED1
MD-P60TED

MD-P40TED1L
MD-P60TED-L

- このたびは三菱電機スポットエアコンをお買上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。
正しくお使いいただくために、ご使用前に、必ずお読みください。
お読みになった後、いつでもご覧になれるよう、お手元に保管してください。
- 保証書はお買上げの販売店からお受取りのうえ、大切に保管してください。

ご使用前に	
安全について	
必ず守ってください	1
各部の名前と働き	5

運転について	
運転のしかた	6
上手な使いかた	7

お手入れについて	
お手入れのしかた	
日常のお手入れ	8
シーズン始め・終わりのお手入れ	9

知っておいてください	
調子がおかしいときは	10
別売品について	12
アフターサービスと保証について	13

ご使用前に

運転について

お手入れについて



知っておいてください

上手に使うって上手に節電






この取扱説明書は再生紙を使用しています。

ご使用の前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください

- ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
 注意	誤った取扱いにより、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性のあるもの。状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります。

- 本文中に使われる「絵表示」の意味は次のとおりです。

	絶対にしないでください。		絶対に水にぬらさないでください。		必ずアース工事をしてください。
	絶対にぬれた手で触れないでください。		必ず指示どおりに行ってください。		

警告 使用上の注意事項

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ●長時間冷風を体に直接当てない、冷やし過ぎない
体調悪化・健康障害の原因になります。 ●吸込口や吹出口に指や棒などを入れない
ファンが高速で回転しており、けがの原因になります。 ●分解や修理をしない
水もれや感電・火災の原因になります。お買上げの販売店にご依頼ください。 ●改造は絶対にしない
事故の原因になります。改造による故障は、保証期間内でも有料修理になります。 ●調理用油や機械油など油成分が浮遊している場所では使用しない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。 ●調理室など油煙の多いところ、または可燃性ガス・腐食性ガスや金属性のホコリのある場所では使用しない
火災や故障の原因になります。 ●冷媒がもれたら火気厳禁
エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常もれることはありませんが、万一、冷媒が室内にもれ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気にふれると有毒ガスが発生する原因になります。燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買上げの販売店にご連絡ください。冷媒もれの修理の場合は、もれ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。 | <ul style="list-style-type: none"> ●可燃性のガス(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない
ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。 ●電源プレーカーによるエアコンの運転や停止をしない
火災や水もれの原因になります。また、運転操作ツマミが「停止」になっていない場合、ファンが突然回り、けがの原因になります。 ●ヒューズ付負荷開閉器を使用の場合、正しい容量のヒューズ以外は使用しない
針金などを使用すると故障や火災の原因になります。 ●異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止して電源プレーカーをしゃ断する
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。お買上げの販売店にご連絡ください。 ●電気工事が必要な場合は、お買上げの販売店に依頼する
配線などに不備があると、漏電・火災の原因になります。 ●洪水・台風など天災でエアコンが水没したときは、お買上げの販売店に相談する
運転をすると、故障や感電・火災などの原因になります。 ●エアコン内部の洗浄はお客様自身で行わず、必ずお買上げの販売店に依頼する
誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、樹脂部分が破損したり水もれなどの原因になります。また、洗浄剤が電気部品や電動機にかかる場合、故障や発煙・発火の原因になります。 |
|--|---|

⚠️ 注意 使用上の注意事項

- **特しゅ用途には使用しない**
精密機器・食品・美術品などの保存、
動植物の飼育や栽培など、
特しゅ用途に使用すると、
対象物の性能・品質・寿命に悪影響を
およぼすことがあります。
 禁止
- **エアコンの吹出口を取り外さない**
高速で回転するファンにより、
けがの原因になることがあります。
 禁止
- **長期使用で傷んだままの取付金具などを
使用しない**
傷んだ状態で放置するとユニットの
落下につながり、けがなどの原因に
なることがあります。
 禁止
- **吸込口や吹出口をふさがない**
能力低下や故障の原因になることが
あります。
 禁止
- **エアコンの真下にぬれて困るものは
置かない**
運転条件によっては、本体や冷媒配管への
結露・エアフィルターの汚れ・
ドレン出口のつまりで水が滴下し、
家財などをぬらす原因になることがあります。
 禁止
- **リモコンは絶対に分解しない**
内部を手で触れると感電や故障の
原因になることがあります。
内部の点検調整はお買上げの販売店に
ご依頼ください。
 禁止
- **吹出ダクトの方向変換は、
たたいたり強く曲げたりしない**
脱落し、けがの原因になることが
あります。
 禁止
- **ぬれた手で操作しない**
感電の原因になることがあります。
 ぬれ手禁止
- **エアコンの風が直接当たるところで
燃焼器具を使わない**
燃焼器具の不完全燃焼の原因に
なることがあります。
 禁止
- **エアコンを水洗いしない**
漏電によって感電や火災の原因に
なることがあります。
 水ぬれ禁止
- **エアコンの近くで暖房器具を使わない**
暖房器具の熱により吸込グリルなどが
変形することがあります。
 禁止
- **ときどき換気を行う**
換気が不十分な場合は、酸素不足の
原因になることがあります。
特に燃焼器具と一緒に使用するときは、
ご注意ください。

- **動植物に直接風を当てない**
動植物に悪影響をおよぼす原因に
なることがあります。
 禁止
- **お手入れのときは必ず運転を停止し、
電源ブレーカーをしゃ断する**
電源をしゃ断しないと、感電や
けがの原因になることがあります。

- **吹出口の近くにスプレー缶などを
置かない**
凝縮器からの温風により
スプレー缶などが爆発するおそれか
あります。
 禁止
- **長期間使用しないときは、
電源ブレーカーをしゃ断する**
ホコリがたまって発熱・発火の原因に
なることがあります。

- **本体やリモコンで遊ばせない**
誤った操作による体調悪化や
健康障害の原因になることがあります。
 禁止
- **高所作業をするときは足場に気をつける**
足場が不安定な場合、
落下・転倒によりけがの原因に
なることがあります。

- **エアコンの吸込口やアルミフィンに
さわらない**
けがの原因になることがあります。
 禁止

警告 据付上の注意事項

●据付工事は、自分でしない

据付けに不備があると、水もれ・感電・火災の原因になります。お買上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●別売品の取付けは、自分でしない 別売品は当社指定以外のものは使用しない

取付けに不備があると、水もれ・感電・火災の原因になります。お買上げの販売店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご依頼ください。



禁止

●修理や移動・再設置は、自分でしない

据付けに不備があると、水もれ・感電・火災の原因になります。お買上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●アース工事を行う

アースが不完全な場合は、感電や火災の原因になります。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。



●漏電しゃ断器を取り付ける

取り付けないと感電や火災の原因になります。



●電源は必ずエアコン専用の電源を使用する

専用以外の電源を使用すると発熱・火災・故障の原因になります。



●冷媒もれ対策は、販売店に相談する

万一、冷媒がもれて限界濃度を超えると、酸欠事故の原因になります。小部屋に据え付ける場合は、冷媒がもれても限界濃度を超えないように対策する必要があります。



注意 据付上の注意事項

●可燃性ガスのもれるおそれのある場所へは設置しない

万一、ガスがもれてユニットの周囲に溜まると、発火の原因になることがあります。



禁止

●リモコンは、水のかかるおそれのある場所に設置しない

水が内部に入ると、感電のおそれがあるほか、内部の電子部品が故障する原因になることがあります。



水ぬれ禁止

●ドレン配管は、確実に排水するように施工する

不備があると、屋内に水もれし、汚れや故障の原因になることがあります。



据付場所について

- まわりに障害物のない風通しの良いところに設置されていますか？
- 次のような場所では使用しないでください。
 - 切削油など鉋物油の立ち込めるところ
 - 調理場など油の飛沫や蒸気の多いところ
 - 海浜地区など塩分の多いところ
 - 温泉地帯など硫化ガスのあるところ
 - 酸・アルカリ性蒸気の立ち込めるところ
 - 工場など電圧変動の多いところ
 - 車両・船舶への搭載など
 - 電磁波を発生する機械のあるところ
 - 導電性粉じんの多いところ
- 防雪対策されていますか？
防雪フードなど、詳細はお買上げの販売店へご相談ください。

電気工事について

- 電気工事・D種接地工事の施工には資格が必要です。
電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」にしたがって施工し、必ず専用回路を使用してください。
また、200V以上で使用するエアコンの電気工事は、必ず電気工事業として登録された据付工事店が行ってください。
- エアコン専用の回路をご使用ですか？

運転音にもご配慮を

- 次のような場所を選んでいませんか？
エアコンの重量に十分耐え、運転音や振動が増大しないようなところ
- エアコンの吹出口近くに障害物がありませんか？
機能低下や運転音増大の原因になります。
- 使用中に異常音がする場合はお買上げの販売店にご相談ください。

ドレン配管の排水について

- ドレン配管は確実に排水するように施工されていますか？
冷房運転時、ドレン配管から排水されていない場合は、ドレン配管内でゴミ・ホコリなどがつまり、ユニットから水がもれる原因になることがあります。
運転を停止して、お買上げの販売店にご相談ください。

●電線などの選定

項目 \ 形名		MD-P40TED1 MD-P40TED1L	MD-P60TED MD-P60TED-L
電源		三相200V 50/60Hz	三相200V 50/60Hz
電源線太さ	mm ²	2.0	2.0
接地線太さ	mm ²	2.0	2.0
開閉器容量	A	15	30
過電流遮断器 (B種ヒューズ容量)	A	15	20
配線用遮断器容量	A	15	20

●漏電遮断器の取付け

(労働安全衛生規則第333条により取付けが義務づけられています)

200V電源の機種	水気のある場所等に設置するときに取付ける
-----------	----------------------

漏電遮断器選定表

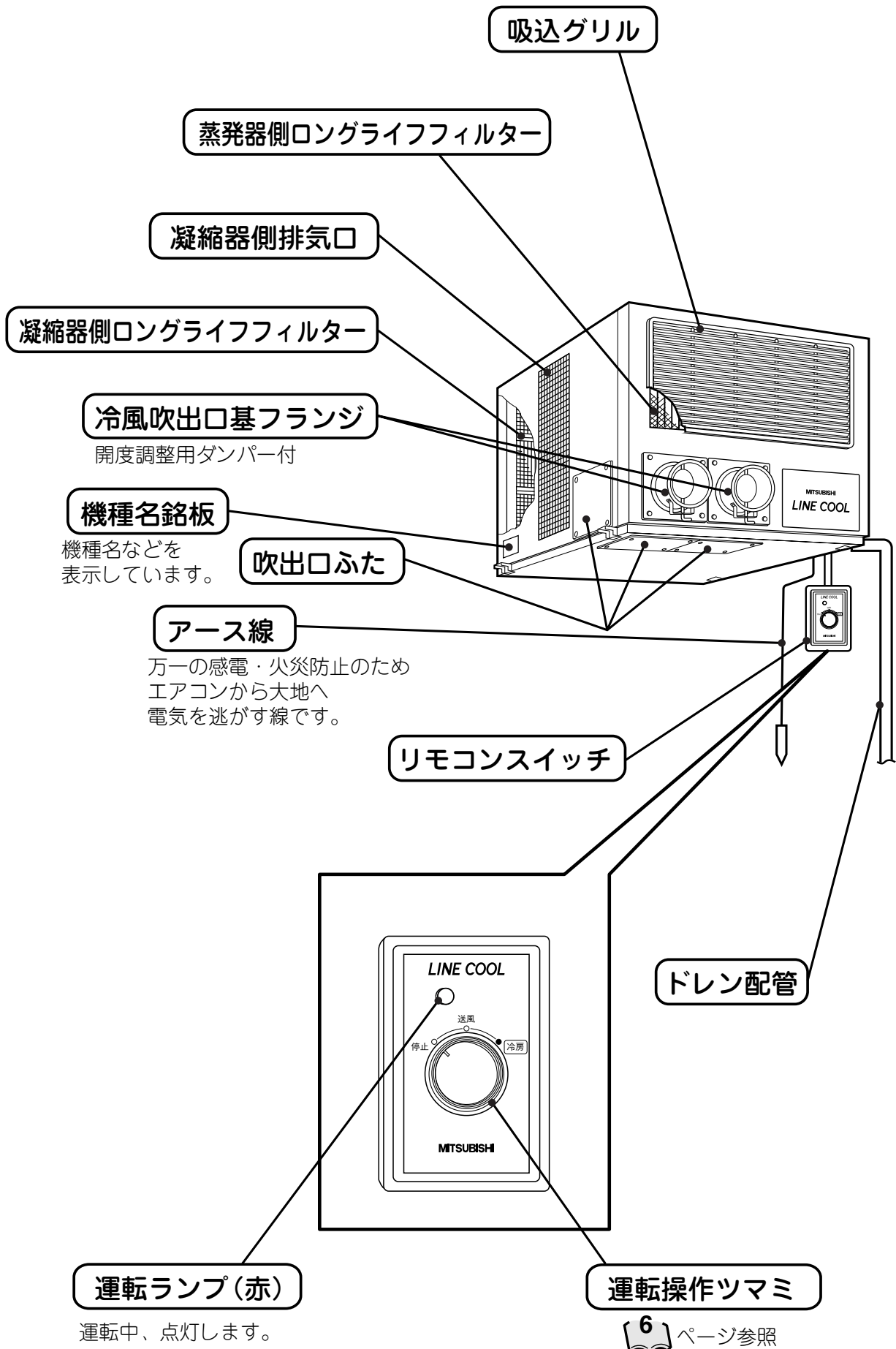
配線用漏電遮断器容量(A)		15	20
漏電遮断器	形名	NV30-CS NV30-SW NV30-KC	NV30-CS NV30-SW NV30-KC
	定格電流(A)	15	20
	定格感度電流(mA)	30	30
	動作時間(s以下)	0.1	0.1

NVは三菱電機製品の形名です。

●電源の相について

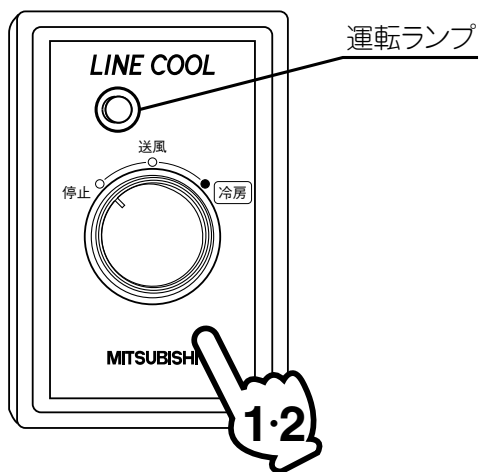
三相電源の機種は、電源線を逆相に接続すると、保護装置が作動し圧縮機が運転しません。
この場合、電源線のいずれか2本を入れかえてください。

各部の名前と働き



(図はMD-P40TED1を示しています。)

冷房・送風運転のしかた



連続運転可能範囲

機種名	周囲温度
MD-P40TED1 MD-P60TED	25~45℃
MD-P40TED1L MD-P60TED-L	10~45℃

お願い

- 操作後、運転しない場合は逆相保護装置が作動していることがあります。電源側3本の配線のうち2本を入れ替えて再運転してください。
- 運転中に停電したときは、運転操作つまみを停止にし、復帰後再運転してください。

1

運転操作つまみを送風にします。
運転ランプ(赤)が点灯し、送風運転を開始します。
(圧縮機は運転していません)

●送風運転の操作はここまでです。

2

運転操作つまみを冷房にします。
冷房運転を開始します。
(圧縮機が運転を始めます)

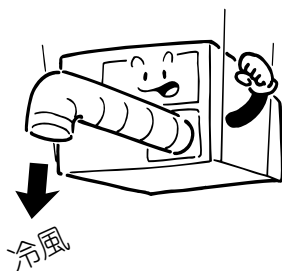
停止

運転操作つまみを停止にします。
運転ランプが消灯し、運転を停止します。
(圧縮機も停止します)

運転のしかた

運転の内容と働き

冷房



圧縮機を運転しスポット冷風を吹き出します。

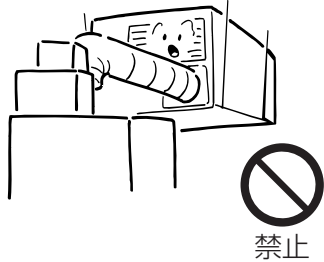
送風

空気を循環させます。

上手な使いかた

●吹出口・吸込口の近くに ものを置くのはやめましょう

能力が低下
または運転が
停止することが
あります。



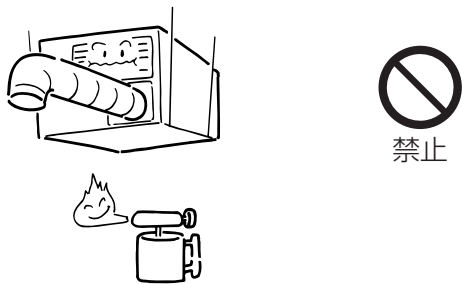
●狭い場所での使用は、窓や扉を 開けましょう

締め切った狭い場所では凝縮器からの
排気により、室温が上昇します。



●発熱体の近くに、エアコンを置くのは やめましょう

周囲の温度が高くなりすぎると、
冷えがにぶくなります。



●エアフィルターはこまめに 清掃しましょう

汚れたまま運転すると
能力の低下、または故障の原因に
なることがあります。

8 ページ参照



●電源コードを強く引っ張るのは やめましょう

配線が傷み漏電などの
原因になります。



●テレビ・ラジオ・ステレオなどは エアコンから1m以上離しましょう

映像が乱れたり、雑音が入る
ことがあります。



警告

- 可燃性のガス（ヘアスプレーや殺虫剤など）は本体の近くで使用しない
ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。



注意

- エアコンを水洗いしない

漏電によって感電や
火災の原因になる
ことがあります。



水ぬれ禁止

- お手入れのときは必ず運転を停止し、
電源ブレーカーをしゃ断する

電源をしゃ断しないと、
感電やけがの原因に
なることがあります。



- 高所作業をするときは
足場に気をつける

足場が不安定な場合、
落下・転倒によりけがの
原因になることがあります。



- お願い**
- 清掃時以外は、エアフィルターを外さないでください。
故障やケガの原因になることがあります。
 - 吸込口に正規のエアフィルター以外のもの（キッチンペーパーなど）を取り付けしないでください。
性能が低下し、凍結・水もれの原因になることがあります。

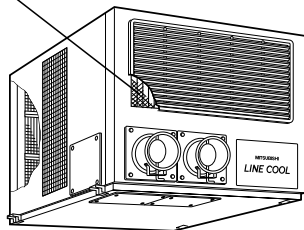
日常のお手入れ

エアフィルターの清掃のしかた

- 汚れのひどいところでご使用になる場合は
2ヵ月に1度清掃してください。
通常は4ヵ月（冷房シーズン）に1度が目安です。
- エアフィルターは、蒸発器側と凝縮器側に
それぞれ1枚ずつあります。

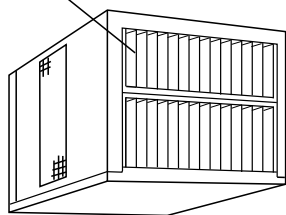
蒸発器側

ロングライフフィルター



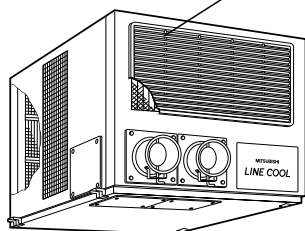
凝縮器側

ロングライフフィルター



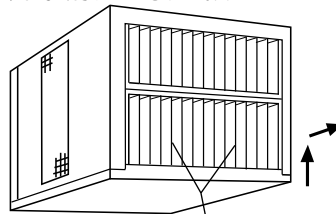
- 1.最初に、吸込グリルの下の
とって部に手をかけ、
少し持ち上げて下方手前側に
引き抜いてください。

吸込グリル



- 2.エアフィルターを取り出します。

ロングライフフィルターの
補強部を少し持ち上げ、
下方手前側に引き抜いてください。



- 3.清掃します。

取り出したエアフィルターは、
清水かぬるま湯で洗ってください。

汚れがひどい場合、
水切りし、日陰で
柔らかいブラシや
中性洗剤を使って
洗ってください。



お願い

- 50℃以上のお湯で洗わないで
ください。
変形することがあります。
- 火であぶらないでください。
燃えることがあります。
- 長時間、直射日光に当てないで
ください。
縮むことがあります。

- 4.エアフィルター・
吸込グリルを取り付けます。

1.2.と逆の要領で取り付けてください。

外装の清掃のしかた

- 柔らかい布でからぶきしてください。
- 汚れがとれないときは、水でうすめた中性洗剤にひたしてよく絞った布でふきとったあと、からぶきしてください。

お願い

- ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉・市販の液状殺虫剤などは使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。
- 50℃以上のお湯を使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。

シーズン始め・終わりのお手入れ

シーズン始め

確認してください。

- エアコンのまわりに障害物がありませんか？
障害物がある場合は取り除いてください。
障害物の影響で風量低下による能力低下や水もれ・機器の故障につながります。

エアフィルターと外装を清掃してください。


- エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。

清掃のしかたは  ページ参照。

電源ブレーカーを入れてください。

シーズン終わり

晴れた日に半日ほど送風運転をし、内部をよく乾燥させてください。

- カビなどの発生を防止するためです。
送風運転のしかたは  ページ参照。

電源ブレーカーをしゃ断してください。

エアフィルターと外装を清掃してください。

- エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。

清掃のしかたは  ページ参照。


調子がおかしいときは

サービスを依頼される前にお調べください。

症状	原因	処置
まったく 運転しない	電源ブレーカーのところがOFF位置 またはトリップ位置になって いませんか？  電源ブレーカー (漏電しゃ断器)	<ul style="list-style-type: none"> ●電源ブレーカーのところがOFF位置の場合は、電源を入れてください。 ●電源ブレーカーのところがトリップ位置の場合は、電源を入れないで販売店にご連絡ください。
	停電ではありませんか？	停電復帰後、運転操作ツマミを「停止」にし、再運転してください。
	ヒューズ付負荷開閉器のヒューズが切れていませんか？	ヒューズを確認し、ヒューズが切れている場合は、お買上げの販売店にご連絡ください。
運転すると すぐに止まる	吹出口・吸込口の近くにものを置いていませんか？	障害物を取り除いてください。
	エアフィルターが目詰まりしていませんか？	エアフィルターを清掃してください。  ページ参照
	凝縮器にゴミやホコリが詰まっていますか？	お買上げの販売店にご相談ください。
	周囲温度が高すぎませんか？	風通しを良くするなどして、連続運転可能範囲内でご使用ください。  ページ参照
	風量が多すぎませんか？	ダンパー開度を小さくし、ファン用過電流継電器のリセットボタンを押してください。詳細は、お買上げの販売店にご相談ください。
よく冷えない	吹出口をふさいだり、吸込口の近くにものを置いたりしていませんか？	障害物を取り除いてください。
	エアフィルターが目詰まりしていませんか？	エアフィルターを清掃してください。  ページ参照
	周囲温度が高すぎませんか？	風通しを良くするなどして、連続運転可能範囲内でご使用ください。  ページ参照
	ほかの設備の排熱空気を吸い込んでいませんか？	設置場所を変えてください。
	蒸発器にゴミやホコリが詰まっていますか？	熱交換器の洗浄が必要な場合がありますので、お買上げの販売店にご相談ください。

以上のことをお調べになったうえで、なお調子が良くないときはご自分で修理しないで、お買上げの販売店にご連絡ください。

このとき、症状と機種名をお知らせください。

(機種名は製品外板下方に取り付けている銘板に記載しています。( ページ参照))

次の場合は、故障ではありません。

症状		原因
白い霧が出る	冷房時、湿度が高いとき (油分やホコリの多い場所)	エアコン内部の汚れがひどい場合に、 温度ムラが生じるためです。(注1)
音が出る	冷房運転スタート時の「ジー」 という連続音	冷房運転したときの圧縮機の声です。 しばらくすると消えます。
	運転停止後の「シュルシュル」 という音	ガス(冷媒)の流れが止まる音 または流れが変わる音です。
ホコリが出る	長時間運転停止後、 ふたたび運転を始めるとき	エアコン内部に付着したホコリが 吹き出るためです。
ニオイが出る	運転中	部屋のニオイ・たばこのニオイなどが エアコン内部で吸着されて吹き出す ためです。(注2)

注1. エアコンの内部の洗浄が必要です。洗浄には専門の技術が必要ですのでお買上げの販売店にご依頼ください。

注2. ニオイの原因となるものを吸込口から離してください。

次の場合は、販売店へご連絡ください。



警告

●異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止して電源ブレーカーをしゃ断する

異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。
お買上げの販売店にご連絡ください。



症状	次の処置をしてから連絡を
電源ヒューズ・電源ブレーカー・漏電しゃ断器などの 安全装置が作動する。	電源をしゃ断してください。
運転スイッチの作動が不確実。	電源をしゃ断してください。
エアコンから水がもれる。	運転を停止してください。

エアコンの機能を幅広くご利用いただけるように、専用部品を用意しております。
ご購入のときには純正品とご指定ください。詳細はお買上げの販売店にお問合せください。

警告

- 別売品の取付工事は、自分でしない
別売品は当社指定以外のものは使用しない

取付けに不備があると、水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご依頼ください。



- 延長ダクト 風向を自由に変えることができます。
- 天吊補助金具 現地の天井梁を利用し、製品の天吊り設置ができます。
- ワイド吹出口 冷風の広がりを調整できます。
- 自動首振ユニット 延長ダクトの先端に取り付けると、吹出ダクトが自動で首振りし、スポット冷房ゾーンを拡大することができます。

アフターサービスと保証について

アフターサービスについて

警告

●改造は絶対にしない

事故の原因になります。
改造による故障は、保証期間内でも
有料修理になります。



禁止

●修理や移動・再設置は、自分でしない

据付けに不備があると、水もれ・感電・
火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●冷媒がもれたら火気厳禁

エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常もれることはありませんが、万一、冷媒が室内にもれ、
ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買上げの販売店にご連絡ください。
冷媒もれの修理の場合は、もれ箇所の修理が確実に行了われたことをサービスマンに確認のうえ、
運転してください。



禁止

フロンについて

- 1) 地球温暖化防止のため、この製品を廃棄・整備する
場合には、フロン類を回収する必要があります。
- 2) 本機には最大で、以下に示す量のフロン類が
使用されています。
P40形の場合：CO₂ 2,000kg相当
P60形の場合：CO₂ 2,700kg相当
(詳細な数値は各製品の機種名銘板に記載されています)



この表示はエアコンに温暖化ガス
(フロン類)が封入されていることを、
ご認識いただくための表示です。

■修理を依頼されるときは 次のことをお知らせください。

- 機種名
 - 製造番号と据付年月日
 - 故障状況 — できるだけ詳しく
 - ご住所・お名前・お電話番号
- } 保証書に記載してあります。

■ご不明な点や修理に関するご相談

お客様ご相談窓口、修理窓口にお問合わせください。

■補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。
当社は、このエアコンの補修用性能部品を製造打ち切り後9年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるもの
ですが、当社はこの基準により補修用部品を調達した上修理によって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により
有償修理を実施します。

■保守点検契約のおすすめ

エアコンを数シーズンご使用になると内部が汚れ、性能低下や水もれの原因になることがあります。
分解や内部清掃には専門の技術が必要ですので、通常のお手入れとは別に保守点検契約(有料)をおすすめします。

■点検と保全周期の目安について

[保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

表1は次の使用条件が前提となります。

- ① ひんぱんな運転・停止のない、通常のご使用状態であること。
(機種により異なりますが、通常のご使用における運転・停止の回数は、6回/時間以下を目安としています。)
- ② 製品の運転時間は、10時間/日、1500時間/年としています。

●表1. 「点検周期」および「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]	主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間	センサー (サーミスタなど)	1年	5年
電動機 (ファンなど)		20,000時間			
熱交換器		5年			

- 注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
- 注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。
また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。
- 注3. 「保全周期」および「交換周期」は、使用条件（運転時間が長い、運転・停止ひん度が高いなど）や使用環境（高温・多湿など）がきびしくなると短縮する必要があります。
詳細は、お買上げの販売店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にお問合わせください。

■消耗部品の交換周期目安について

[交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

●表2. 「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期	主要部品名	点検周期	交換周期
エアフィルター	1年	5年	ヒューズ	1年	10年

- 注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
- 注2. この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。
詳細は、お買上げの販売店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にお問合わせください。
なお、当社が指定した業者以外による分解や内部清掃に起因する故障については、保証対象外となる場合がありますのでご注意ください。

■移設および廃棄などについて

転居などでエアコンを移動・再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買上げの販売店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。

この製品は「フロン回収・破壊法」に定める「第一種特定製品」です。

- この製品を廃棄またはリサイクル（部品や材料の再利用）する場合には「フロン回収・破壊法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊・書面管理が義務付けられています。
 - この製品を移動・再設置する場合で、冷媒回収が必要なときは「フロン回収・破壊法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊が義務付けられています。
- いずれの場合も、お買上げの販売店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。
- 製品を廃棄する場合は、地域の条例にしたがって適正に処理してください。

■ご不明の場合は

アフターサービスについては、お買上げの販売店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にお問合わせください。

保証書について

- この製品には保証書がついています。保証書は、お買上げの販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載事項をお確かめのうえ、エアコンを管理している方が大切に保管してください。
保証期間…据付日から1年
詳細は保証書をよくお読みください。
- 保証期間内に無料修理を依頼されるときは、お買上げの販売店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご連絡のうえ、修理のときは「保証書」を必ずご提示ください。ご提示のない場合は、無料修理保証期間中であってもサービス料をいただくことがありますので、保証書は大切に保管してください。

— お客様メモ —

ご購入店名 _____

TEL. _____

据付年月日 年 月 日